

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター



第266号 2026年7月号

だより

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



なつ かんさつ つ ゆ あ いちばん 夏のトンボの観察は、梅雨明けが一番です

7月になりました。もうすぐ梅雨が明けます。梅雨明けから2週間ぐらいの間が色鮮やかな夏のトンボたちの姿を見るのに適した時期です。ぜひ桶ヶ谷沼においでください。



ショウジョウトンボ♂



ショウジョウトンボ♀



コシアキトンボ♂



コシアキトンボ♀



ハラビロトンボ♂



ハラビロトンボ♀



ウスバキトンボ♂



ウスバキトンボ♀



コフキトンボ♂



コフキトンボ♀



オオシオカラトンボ♂



オオシオカラトンボ♀



シオカラトンボ♂



シオカラトンボ♀



チョウトンボ♂



チョウトンボ♀



キイトトンボ♂



キイトトンボ♀



ベニイトトンボ♂



ベニイトトンボ♀



モノサシトンボ♂



モノサシトンボ♀



クロイトトンボ♂



クロイトトンボ♀

トンボを大きく二つに分けると…

トンボの仲間を大きく二つに分けると「均翅亜目」と「不均翅亜目」に分かれます。均翅亜目の仲間には、からだななかまが細長い、4枚の翅はねの大きさきんしあもくと形かたちがほぼ同じ、枝などにとまり休むときに4枚の翅を閉じている、2つの複眼が頭部の左右に離れている、などの特徴があります。イトトンボ科やモノサシトンボ科などの仲間が均翅亜目に当たります。一方、不均翅亜目の仲間には、からだふとが太くがっしりしている、前の翅よりうしろ後の翅の方が幅広で大きい、とまるときには翅ひらを開いて休む、複眼が大きく頭部の中央で接している、などの特徴があり、トンボ科やヤンマ科、サナエトンボなどの仲間が不均翅亜目に当たります。

実は、両者の中間的な特徴を持つムカシトンボ科の仲間もいます。

センター行事：「水生生物観察会」

- ☆ **日時** 9月6日(日) 13:30~15:30
- ☆ **場所** 田原交流センター西の水車付近
- ☆ **対象** 一般(小学生は保護者同伴で保護者の方もなるべく一緒に川に入ってください。未就学児の参加・見学はご遠慮ください)
- ☆ **内容** 桶ヶ谷川に棲む水生生物の観察
- ☆ **服装・持ち物** 水に入って活動ができる服装、長靴または汚れてもいい靴、ゴム手袋、帽子、水筒、タオル、着替え、少雨の場合カッパ
*安全のためサンダルでの参加はやめてください。
(かかとが固定できるサンダルは可)
*着替えの場所は確保していませんので各自でお願いします。
- ☆ **備考**
 - ・天候によっては中止になることがあります。
 - ・駐車場は田原交流センター南の空き地です。係の指示に従ってください。
 - ・田原交流センターの駐車場にはとめないでください。
- ☆ **募集人数** 20人 先着順

***申し込みは直接、電話やファックスでビクターセンターへ**